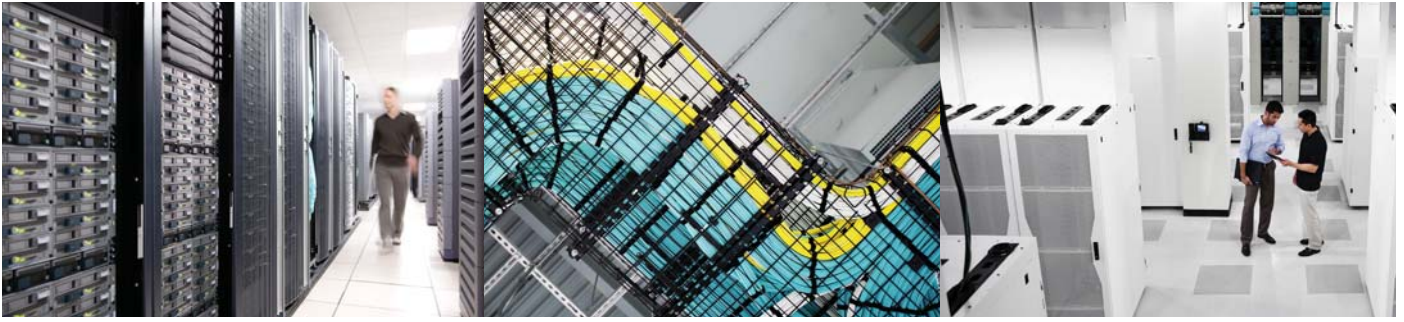


# Veeam Backup & Replication + Cisco UCS 仮想環境のためのデータ保護デザイン



## ソリューション ハイライト

- Cisco UCS C シリーズラックサーバと Veeam Backup & Replicationは、VMware vSphere/Microsoft Hyper-V ユーザ、既存のCisco UCSユーザのバックアップをより効率的な利便性の高いものにします。
- Cisco UCSユーザは既存の投資をデータ保護に活用できます。
- Cisco UCS Cシリーズラックサーバに仮想マシンのバックアップを格納し、高速なファイル、アプリケーション、オブジェクトの復旧を実現できます。



## 世界中どこでも、いつでも ON なビジネスの実現

より早くITサービスを提供し、セキュリティと制御、運用コストは削減しながらも強化できるよう、現在のデータセンターは進化しています。そのために、仮想化、最新のストレージ、ネットワークで最先端のデータセンターを実現していますが、エンドユーザからの「いつでもデータ、アプリケーションにアクセスできるようにダウンタイムやデータ損失を0にする」といった可用性の需要は指数関数的に増加しています。

この「いつでもONなビジネス」を実現するための要件と従来のバックアップには大きな壁があり、最先端のデータセンタはこの壁を打ち破る必要があります。

そこで、CiscoとVeeamはVMware vSphere 環境または Microsoft Hyper-V 環境の全てのアプリケーションを15分未満でリカバリ可能な、最先端のディザスタリカバリソリューションを提供します。



図1 求められる可用性の要件との壁

## 従来のバックアップツールの問題点

従来のバックアップツールは仮想環境のために作られていません。そのため、仮想環境の利点を完全に活用することが難しく、IT管理者は多くの問題に対処する必要があります。

- 実際にはバックアップが取れていない
- 長時間の復旧
- バックアップデータの管理とストレージへのコスト増大
- 要件を満たす、信頼性高い確実なバックアップを実現できない
- システム管理の複雑さによる生産性の低下
- 規模拡大によるバックアップ操作の増加

現在、IT管理者はこのような問題に対して、Veeam + Ciscoのソリューションを用いることで、仮想環境に適したRPOの削減と積極的なRTOを実現できます。

## Veeam + Cisco UCS

Veeam + Ciscoによるソリューションは単なるバックアップにとどまりません。仮想化、ストレージ、クラウド技術を活用した統合ソリューションとして、高速なリカバリ、データ損失の回避、復旧可能性の確実な確保、データ活用、完全な可視化を提供します。さらに、Cisco UCSは基盤システムに対して高可用性とスケーラビリティを提供します。

また、VeeamとCiscoを組み合わせたソリューションにはシンプルな管理プラットフォームが組み込まれ、サーバ、ストレージ、ネットワークを含むすべてのリソースが仮想化に最適化されています。

## 小規模から大規模まで全ての規模に対応可能なアーキテクチャ

Veeam + Cisco UCS はどんなサイズのアーキテクチャでも動作するように設計され、小規模環境から複雑なシステムまで利用できます。

Cisco UCS3160 ラックサーバには CPU、メモリ、ストレージ容量が十分にあり、単一で構成(図2)することも可能です。また、より複雑な構成であっても図3、4のように構成できます。

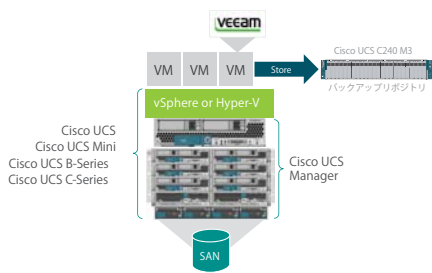


図2 Veeam+Cisco UCSの最小構成

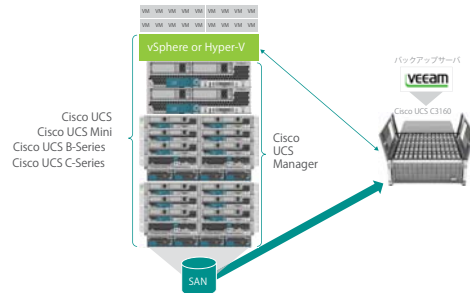


図3 Veeam+Cisco UCSの中規模構成

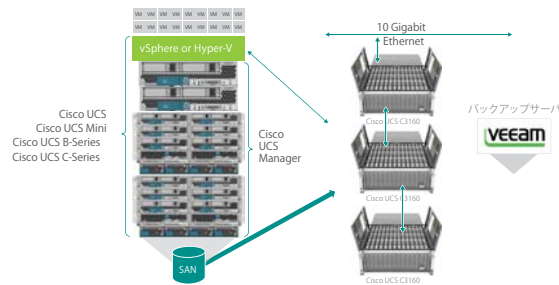


図4 Veeam+Cisco UCSの大規模構成

## 確実な保護と管理を提供

Veeam + Cisco UCSは仮想化されたアプリケーションとデータの高速かつ柔軟で確実な復旧を提供します。このソリューションは、企業が毎日/24時間、可用性を維持するために有用であり、費用対効果が高く、IT管理者やクラウドプロバイダが簡単に操作できます。

**高速な復旧:** インスタントVMリカバリを使用すれば、障害が発生した仮想マシンを数分で復旧でき、インスタントファイルレベルリカバリではゲストOSのファイル、フォルダをリアルタイムに復旧できます。

さらにVeeam Explorer for Microsoft Exchange, SharePoint, SQL Server, Active Directoryを使用すれば、特定のアイテム、オブジェクトを短いRTOを復旧できます。

**データ損失の回避:** 以下の機能によりデータ損失を回避します。

**2 in 1のバックアップとレプリケーション:** 仮想化されたアプリケーションに合わせてバックアップとレプリケーションを使い分けることで継続的なデータ保護を実現できます。

**組み込みのWAN高速化:** WANアクセラレーション機能により、WAN経由でのデータ転送を最大50倍高速化できます。

**エンドtoエンドの暗号化:** AES256bitの透過的な暗号化により安全にバックアップが可能です。

**効率的なレプリケーション:** WANアクセラレーションによる高速な転送、バックアップからのレプリケーション、ワンクリックでのサイト全体のフェイルオーバーなどにより高速で効率的なレプリケーションが行えます。

**ネイティブテープのサポート:** 仮想マシンのバックアップ、個別のファイルをテープに格納できます。必要に応じたテープからリストアも簡単です。

**Veeam Cloud Connect:** DRサイトを構築しなくとも災害によるデータ損失のリスクを回避できます。

**復旧可能性の確実な確保:** SureBackup, SureReplica機能による自動的なバックアップ、複製VMの復旧検証により、復旧可能性を確実に確保できます。

**データ活用:** Virtual Lab機能により、運用中のインフラストラクチャに影響のない、運用中のような隔離された環境で、各アプリケーションのテスト、トラブルシューティングを実施し、デプロイの問題を回避できます。

**総所有コストの削減(TCO):** Cisco UCS Cシリーズラックサーバは従来のデータ保護プラットフォームに比べて、TCOを削減し、業界標準のフォームファクタで独自の利点を提供します。

**高速なデプロイ:** Cisco UCS C240 M4とC3160ラックサーバはバランスの良いコンピューティングリソースと高密度なローカルストレージを提供し、デプロイにかかる時間短縮することで、より高い俊敏性を実現します。

**Cisco UCS C3160ラックサーバ:** Intel Xenon プロセッサE5-2600 v2シリーズを搭載した、最大360TBのローカルストレージを提供する高密度なサーバであり、コンパクトな4ラックユニット(4RU)で標準的な深さのラックでご利用いただけます。またエンタープライズクラスなRAID技術、ホットプラグといったミッションクリティカルなコンポーネントも搭載しています。

**スケーラビリティと柔軟性:** このソリューションは簡単に拡張可能です。スタート時には、Raw容量168TBで約50仮想マシンをバックアップできます。これを拡張していき、ペタバイトの容量で約1000仮想マシンをバックアップできます。

※Veeamのライセンスはバックアップ対象の仮想マシンが実行されるハイパーバイザのCPUソケット分必要です。

**Cisco UCS C240 M4ラックサーバ:** このサーバは、ストレージ集約型のワークロードに広範囲で対応するためのパフォーマンスと拡張性が設計されており、小規模から中規模までのバックアップ、レプリケーション構成に適しています。Cisco UCS C240 M4 は2RUフォームファクター、Intel XeonプロセッサE5-2600 v3シリーズ、最大72TBのローカルストレージを提供します。